



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 共栄タンカー株式会社 上場取引所 東
コード番号 9130 URL <https://www.kyoeitanker.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）近藤 耕司
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）佐々木 尚人 TEL 03-4477-7154
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	3,856	7.4	537	195.0	427	74.8	371	△91.8
2025年3月期第1四半期	3,591	2.2	182	-	244	-	4,527	-

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △340百万円（-％） 2025年3月期第1四半期 4,781百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	48.62	-
2025年3月期第1四半期	591.95	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	73,984	24,566	33.2
2025年3月期	77,291	25,059	32.4

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 24,566百万円 2025年3月期 25,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2026年3月期	-				
2026年3月期（予想）		20.00	-	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	7,500	△0.5	700	△25.0	450	△37.8	350	△92.9	45.77
通期	14,500	△4.4	1,100	△19.9	600	△41.8	200	△96.1	26.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想につきましては、本日（2025年8月1日）公表いたしました「第2四半期（中間期）累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	7,650,000株	2025年3月期	7,650,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,327株	2025年3月期	2,327株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	7,647,673株	2025年3月期1Q	7,647,750株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、人手不足などによる賃上げ圧力を背景に所得環境が改善し、個人消費も底堅く推移しました。景気は、米国の関税影響懸念による財輸出や設備投資に弱さが見られるなど一部足踏み感がありますが、企業の良い景況感が下支えとなり緩やかに回復しました。米国経済は、公益事業の急増に伴い企業の景況感は小幅に回復しましたが、家計の購買力低下によって個人消費が減少しており、景気減速の兆しが見受けられました。中国経済は、デフレ基調は継続しているものの、耐久消費財買い替え支援補助金などにより消費は加速しており、足元の景気は総じて持ち直しました。

海運市況は、大型原油船（VLCC）につきましては、世界的に堅調な原油の輸送需要と新造船の竣工隻数が少ないことなどから、市況は底堅く推移しました。6月にイスラエルがイランへの攻撃を開始したことをきっかけに急騰したものの、その後は一転、両国の停戦合意を受けて反落するなど、大きく乱高下する展開となりました。

大型LPG船（VLGC）につきましては、米中の関税強化の影響を受け一時市況が大幅に下落しましたが、その後関税が緩和されたこと、また、パナマ運河の通航制限によりトンマイルが増加したこと、更にはOPEC+の増産により中東からのLPG輸送需要も増え、市況は上昇しました。小型LPG船（SGC）は、全体的な荷動きは静かながら底堅いマーケットとなりました。特に6月には米国発のエチレンカーゴの荷動きが活発化し、市況の上昇につながりました。

ばら積み船につきましては、南米穀物シーズンの影響が一時的に市況を下支えた一方、アジア方面での石炭・鉱石需要に鈍化が見られたことや米国による各国との相互関税導入の報道がセンチメントを冷やし、上値の重い市況展開となりました。

こうした経営環境の中、当社グループは引き続き大型タンカーを中心に長期貸船契約を主体とする事業運営のもと、各船の運航効率の向上と諸経費の節減に全社を挙げて努めました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

海運業収益は、前期に取得したLPG船1隻がフル稼働したこと、各所有船舶がトラブル等なく順調に稼働したこと及び当第1四半期に定期修繕を見込んでいた船舶の入渠時期が第2四半期に変更になったことなどにより38億5千6百万円（前年同四半期比2億6千5百万円増）となりました。営業利益は、入渠地の変更による修繕費の削減などにより5億3千7百万円（前年同四半期比3億5千5百万円増）、経常利益は、4億2千7百万円（前年同四半期比1億8千2百万円増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億7千1百万円（前年同四半期比41億5千5百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ33億6百万円減少し739億8千4百万円となりました。流動資産は、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少などにより14億4千6百万円減少し92億2百万円となりました。固定資産は、船舶の減価償却などにより18億6千万円減少し647億8千2百万円となりました。

負債の部は、借入金の返済を行ったことなどにより前連結会計年度末に比べ28億1千3百万円減少し494億1千7百万円となりました。

純資産の部は、為替勘定換算調整勘定の減少などにより前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円減少し245億6千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年8月1日）公表しました「第2四半期（中間期）累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,226,280	7,119,041
海運業未収金	4,868	29,283
立替金	56,941	48,104
有価証券	1,000,000	1,000,000
貯蔵品	441,492	461,359
繰延及び前払費用	92,692	78,535
その他流動資産	826,331	466,150
流動資産合計	10,648,605	9,202,475
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	60,112,841	58,334,708
建物（純額）	34,160	33,536
建設仮勘定	3,568,588	3,576,933
その他有形固定資産（純額）	38,100	34,440
有形固定資産合計	63,753,692	61,979,618
無形固定資産	7,567	9,047
投資その他の資産		
投資有価証券	1,779,467	1,994,234
退職給付に係る資産	24,246	50,760
その他長期資産	1,077,728	748,745
投資その他の資産合計	2,881,441	2,793,740
固定資産合計	66,642,701	64,782,407
資産合計	77,291,307	73,984,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	500,115	415,470
短期借入金	9,432,065	6,044,226
未払費用	84,455	88,405
未払法人税等	9,380	75,089
契約負債	657,153	542,444
賞与引当金	59,023	18,509
その他流動負債	163,028	459,883
流動負債合計	10,905,223	7,644,028
固定負債		
長期借入金	36,111,136	36,392,768
繰延税金負債	3,226,817	3,192,155
特別修繕引当金	1,988,187	2,185,380
その他固定負債	6	3,583
固定負債合計	41,326,149	41,773,887
負債合計	52,231,372	49,417,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,850,000	2,850,000
資本剰余金	518,694	518,694
利益剰余金	16,779,131	16,997,977
自己株式	△3,152	△3,152
株主資本合計	20,144,673	20,363,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972,351	1,119,424
繰延ヘッジ損益	479,522	257,079
為替換算調整勘定	3,463,387	2,826,943
その他の包括利益累計額合計	4,915,261	4,203,447
純資産合計	25,059,934	24,566,966
負債純資産合計	77,291,307	73,984,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
海運業収益	3,591,668	3,856,955
海運業費用	3,144,936	3,017,835
海運業利益	446,731	839,119
一般管理費	264,366	301,148
営業利益	182,364	537,971
営業外収益		
受取利息及び配当金	32,108	62,100
受取保険金	2,757	806
為替差益	138,238	-
その他営業外収益	3,801	4,460
営業外収益合計	176,905	67,367
営業外費用		
支払利息	111,821	131,260
為替差損	-	44,735
その他営業外費用	2,943	1,860
営業外費用合計	114,765	177,857
経常利益	244,505	427,481
特別利益		
船舶売却益	5,800,291	-
特別修繕引当金取崩額	321,320	-
特別利益合計	6,121,611	-
税金等調整前四半期純利益	6,366,117	427,481
法人税等	1,839,045	55,681
四半期純利益	4,527,071	371,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,527,071	371,799

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	4,527,071	371,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,245	147,072
繰延ヘッジ損益	△485,136	△222,443
為替換算調整勘定	652,305	△636,443
その他の包括利益合計	254,414	△711,814
四半期包括利益	4,781,486	△340,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,781,486	△340,014

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,120,083千円	1,200,966千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、外航海運業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(固定資産の譲渡について)

当社連結子会社KYOEI TANKER SINGAPORE PTE. LTD. は、2025年3月18日開催の取締役会において、保有する固定資産を譲渡することを決議し、3月20日付で売船契約を締結いたしました。

しかしながら、当該譲渡資産について、2025年8月1日付「（開示事項の変更）固定資産の譲渡および特別利益発生に関するお知らせ」に記載の通り出港の見通しが立っておらず、当初公表しておりました譲渡益、譲渡の時期について一旦「未定」に変更しております。この結果、本件に関する公表内容は、現在、以下の通りとなっております。

(1) 譲渡資産の内容

資産の内容 シンガポール籍製品船“CHALLENGE PROCYON”（2011年建造 積載貨重量トン45,996MT）

譲渡益 未定

(2) 譲渡相手先

海外の第三者法人（当社グループとの間に資本的関係、人的関係及び取引関係はありません。）

(3) 譲渡の時期

引渡時期：未定

(4) 譲渡の理由

傭船契約終了のため。

(5) 当該事象の連結損益に与える影響

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結決算において船舶売却益（特別利益）を計上する予定でしたが、譲渡時期未定により取り下げます。